

西中の風

～『信頼と笑顔』毎日1,500の思いやりあふれる学校生活～

伊丹市立西中学校長

豊田 實

文化祭

教頭 鳴海和子

清々しい秋日和となった10月26日に文化祭が、行われました。

舞台上の出演者と観客席が一体となって、照明や放送など裏方のがんばりもあり、素晴らしい発表の数々が繰り広げられました。合唱コンクールでは、どの学年も審査員泣かせの熱演が続きました。

学校長の挨拶の中に「生徒の手作り感が豊かに感じられます」というお話と「15日間心地よい合唱が校内に流れ芸術性豊かに育っています」というお話があり、ご来賓の方からも「すごい熱気ですね。去年もそうでしたが。」という声をいただきました。

生徒の皆さんも、楽しく充実した1日を過ごせたのではないかと思っています。



最優秀賞 3年1組 「流浪の民」

合唱しながらクラスのみんなとの一体感を感じた、合唱が終わった後、拍手をしている人の顔を見てやり終えた充実感があった、演じながら、スピーチしながら、見ている人や聞いている人に伝わっているなという実感があった、というような充実感を味わった人も多かったのではないでしょうか。

この充実感を生み出す基には、心の中で聞き手や観衆のことを考え、こんな風に歌ったら（演じたら・話したら）きっと良くなるとか、こんな台詞を言ったら和やかな笑いに包まれるのではないかという、心を込めた工夫が隠されていることが多いのです。目に見えるよう書いたわけではないし、言葉に出したわけでもない。けれどもこの心遣いは、確かに見る人や聞く人に伝わるのです。

10年ほど前、早朝の約束があり宿泊していたホ

テルから出かけようとした時、ホテルの玄関に並んだポールに各国の国旗を掲げているホテルマンの青年に出会いました。午前4時という時間から、普段は目にすることのない情景だったので、「ご苦労様。早いですね。」と声をかけると、「毎朝その日に訪れるお客様の国々の旗をお迎えする気持ちで掲げています。」とさわやかに答えてくれました。ホテルの玄関口の華やかで凛とした雰囲気は、こんな風に作っていたのかと私は、改めて旗を見上げました。

このホテルには、終戦時に政府全権として降伏文書に調印した重光葵が、調印の当日まで任務の関係から滞在しました。終戦直後で十分なこともできない中、二度と戻ることはないかも知れないこのお客様に、せめてできることはできないのかと考えた女性従業員が、毎日くみ上げた水を湧かし、重い湯おけを何度も階段で運んで風呂の湯として使ってもらったという話が残っています。時代も性別も違うけれど、この2人が精一杯自分にできることを考え行つたことの基には、やはり相手への心遣いがあったのだと思います。

文化祭は、学習の成果を発表する場ですが、目標までの少し高いハードルを越える努力や新しいことへの挑戦、他の人を気遣う思いなど、心の成長が伴うことで、多くの人を感動させるより文化の香り高い行事になるのだと思いました。

平成24年度阪神北夏休みのエコ作品コンテスト

優秀賞 中学校の部 西中学校科学部
「伊丹の水について 河川 水質調べ」

佳 作 3年 斎藤 洋佳

「生活排水から川の汚染源を調べよう」

※平成24年11月10日10:30～

アステホール(アステ川西6階)にて表彰式の予定です

**平成 22・23・24 年度伊丹市教育委員会指定
伊丹市立西中学校研究発表会 11月 15 日開催
研究主題「自ら学び、自ら表現できる生徒の育成」**

本校ホームページに研究内容(ダイジェスト版)を掲載していますので、ご覧ください。

昨年の秋からカウントしているアクセス数が3万回となりました。保護者間では約3割の方が時々閲覧されています。機会ある毎に地域関係者にも積極的に本校ホームページを紹介しています。最近は毎日100件ほどのアクセス数です。

本日から文化祭（展示発表）を開催しています。

11/1（木）13:00～16:00

11/2（金）14:30～16:00※3年実力テスト

11/5（月）13:00～16:00

11/6（火）13:00～15:30

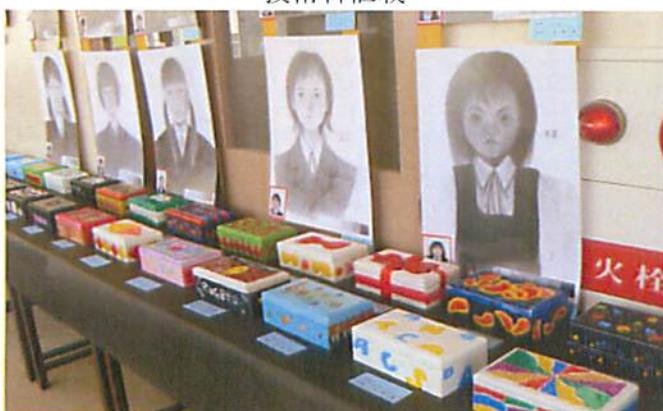
本館・旧館・新館・体育館1階



校舎玄関美術部作品



技術科植栽



美術科（自画像、化粧箱）



ミニ・フォト・ギャラリー



科学研究部（県立伊丹北高校サイエンスレクチャー参加）



特別支援学級作品



家庭科作品



体育科（ダンス演技）